

七尾線観光列車 「花嫁のれん」ロゴ・内装資料



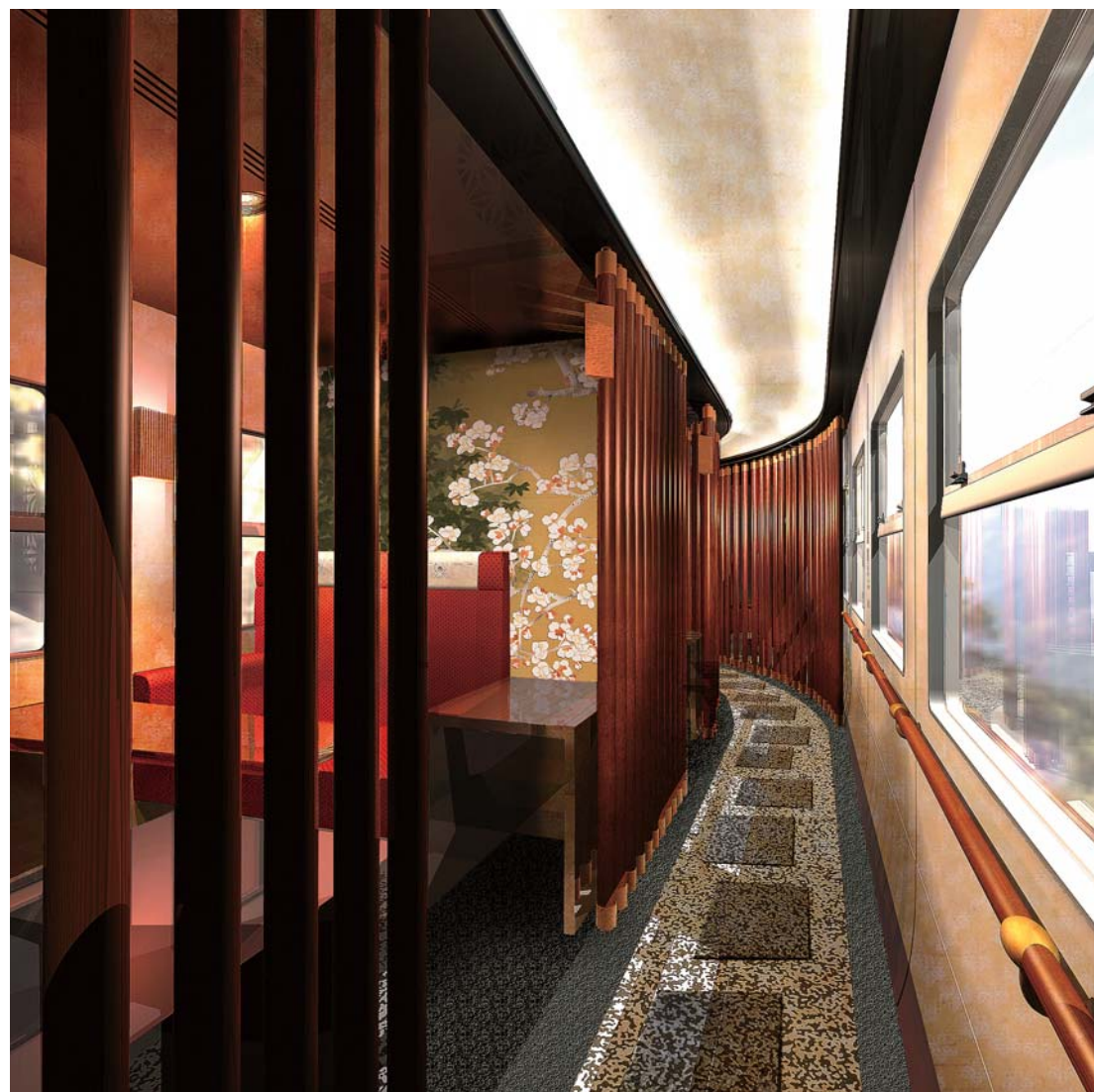
●デザインコンセプト：石川の伝統工芸である加賀水引をモチーフに、花嫁のれんをくぐる神聖で幸せな気持ちを表現し、「女性の幸せを願う列車」であることを表現しています。水引の淡路（鮑）結びには、簡単には解けないことから末長くお付き合いしたいという意味があり、互いの輪が結び合い全体に和をなすカタチにしていることで、北陸への旅が、「仲良く和やかで楽しい旅」になるよう願いを込めています。ロゴタイプも全ての文字が切れずに繋がり、人と人、心と心を結ぶ列車を表現しています。



花嫁のれん



花嫁のれん



● 1号車

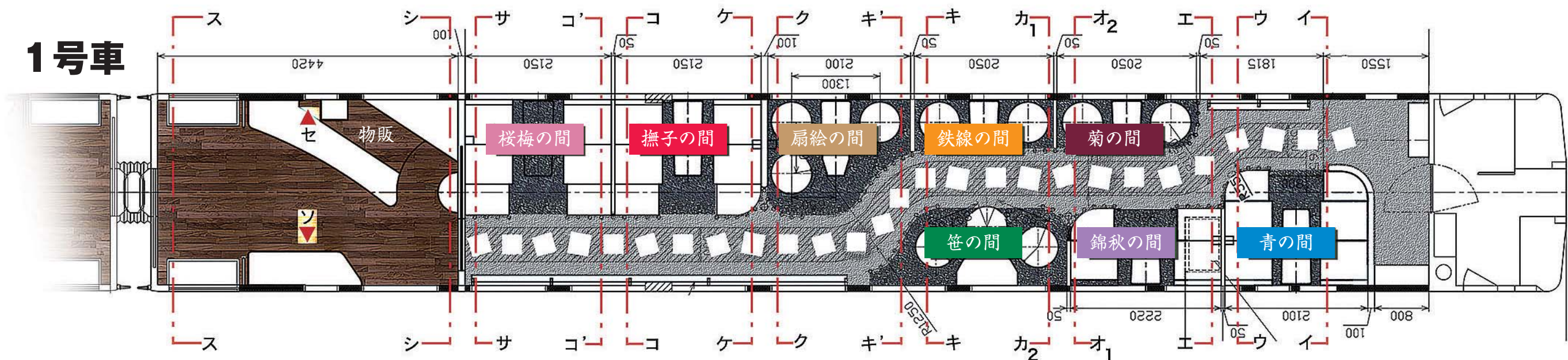


● 2号車

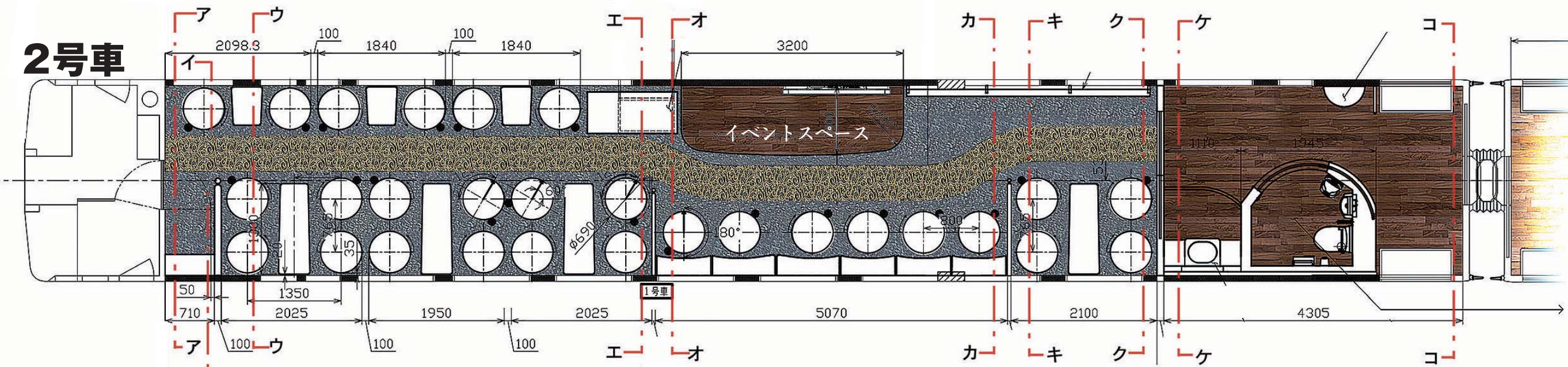


花嫁のれん

1号車

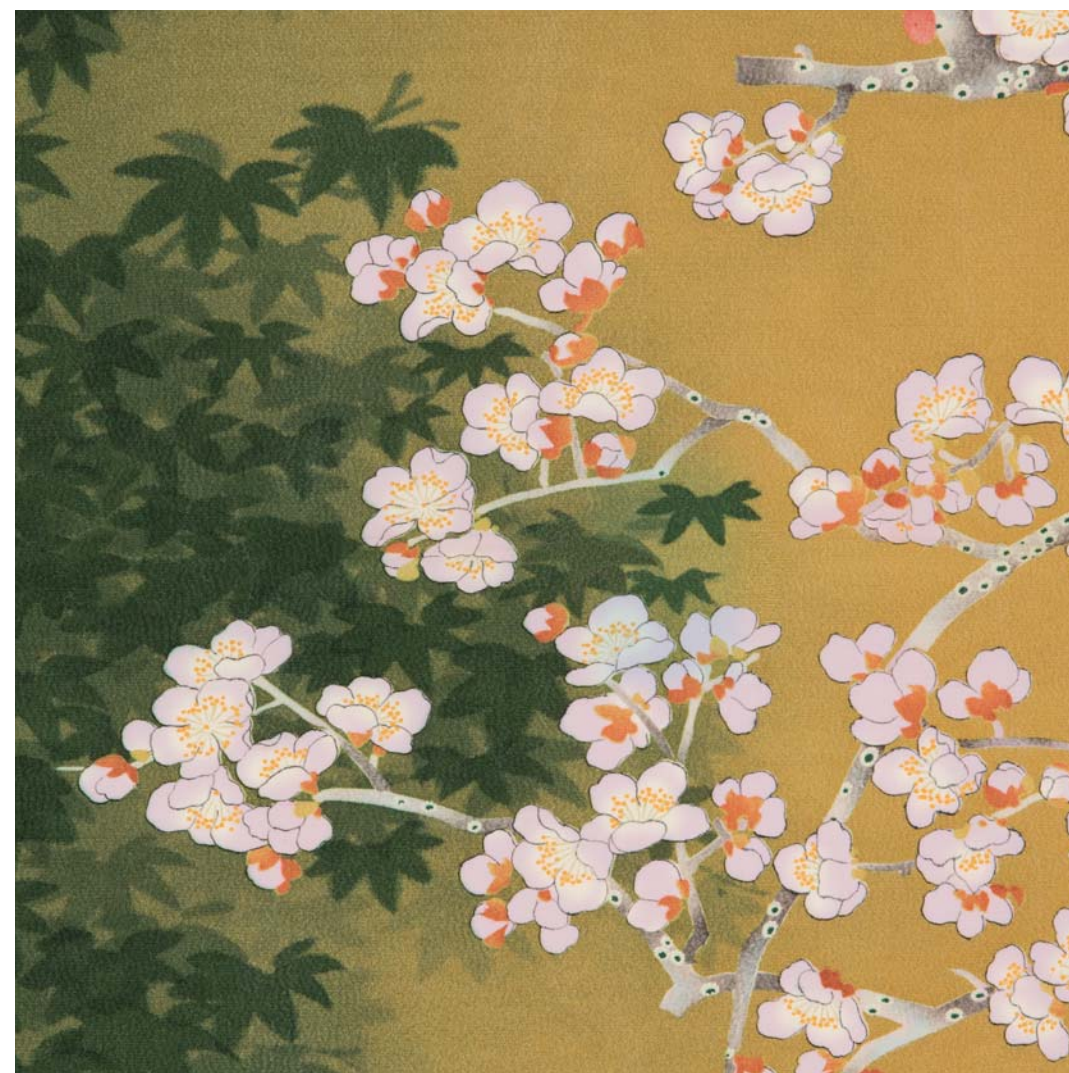
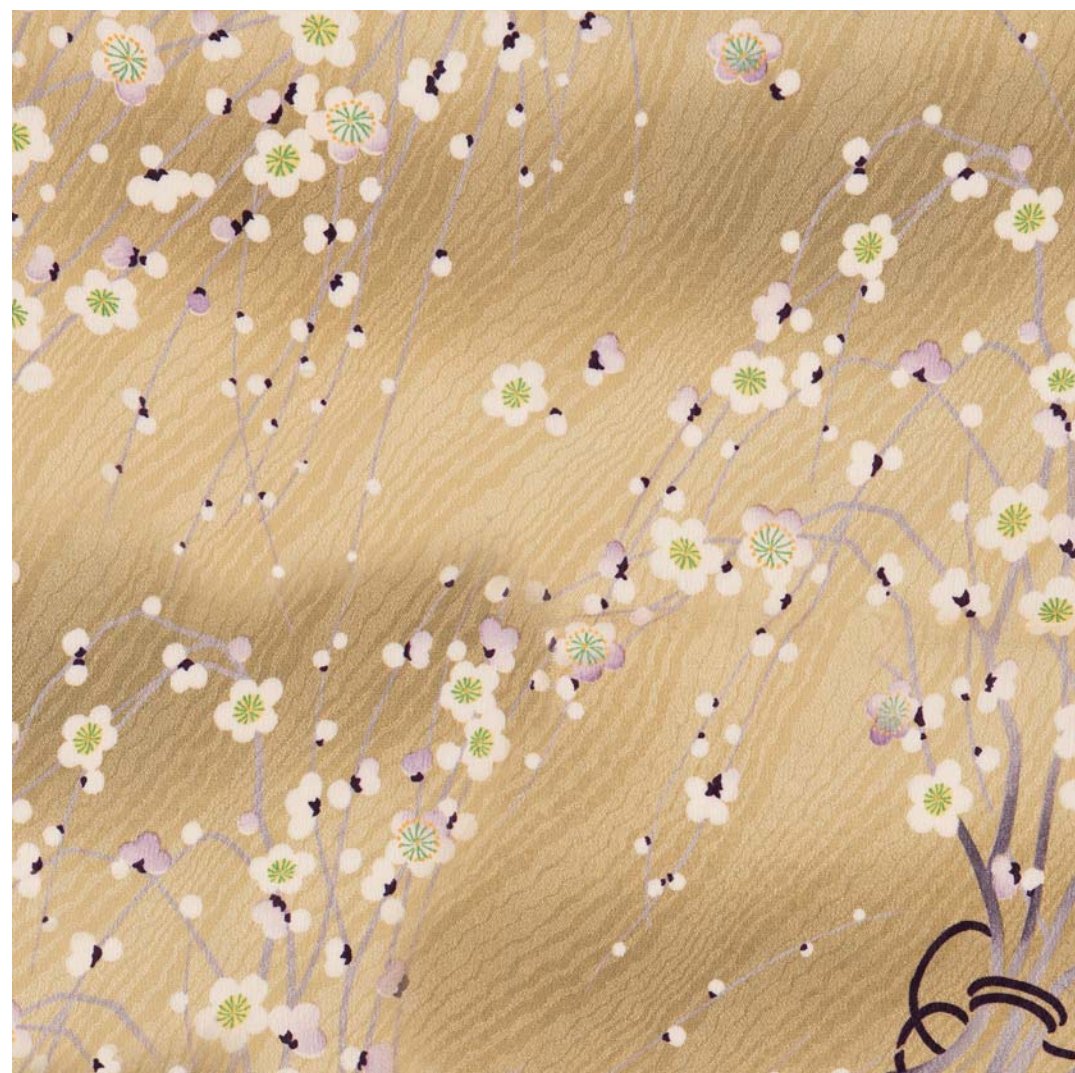


2号車



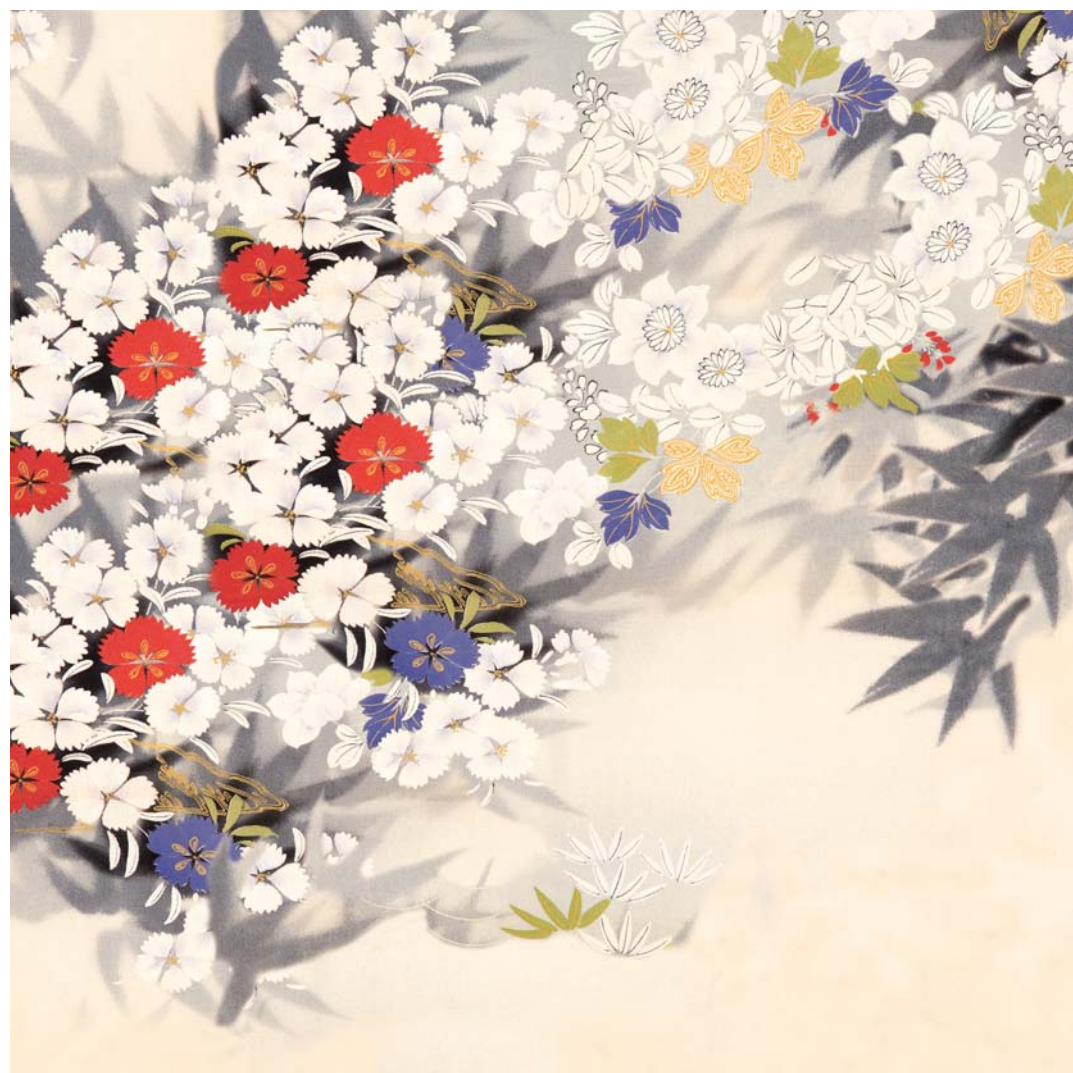
●デザインコンセプト：1号車は8つの半個室と物販スペースがあり、ゆったりと寛ぎの旅を楽しめる空間としました。通路は日本庭園の飛び石をイメージした絨毯を敷き、各部屋はそれぞれ友禅のオールコレクションをあしらった空間に。2号車はイベントスペースを中心に、賑やかに旅を楽しめる空間としました。通路は流水のイメージ、椅子は紅色の生地と背面の木の格子が特徴的なオリジナル回転椅子に、内装は伝統的によく使用される輪島塗の図柄を表現しました。車両全体で「北陸の和と美」を感じ、満喫できる列車としました。





桜梅の間

「桜」は日本人にとって最も親しみのある花のひとつです。「梅」は冬の寒さに耐え一早く花を咲かすことから、忍耐があり生命力の象徴（長寿）を表します。「和と美のおもてなし」を表現する「花嫁のれん」の象徴的な部屋として、春を感じられる空間をご用意しました。 ●花言葉「梅」：高潔・潔白・澄んだ心・忠義 「桜」：心の美しさ・精神の美・優美な女性 ●季語：春



撫子の間

「撫子」は、日本女性を「大和撫子」と呼んだように、清楚で可憐なイメージ。鎌倉時代より調度や衣服にも使われ、秋の七草にも数えられる伝統的な柄です。「吉祥文様」の笹(竹)も描かれており、めでたく、可愛らしさを感じられる空間としました。

●花言葉：純愛・思慕・快活・女性の愛 ●季語：秋



扇絵の間

「扇」は、先が広がった形から、将来の展望が広がる「末広がり」を表現する「吉祥文様」のひとつです。扇には様々な個性の絵柄を描き、この部屋を訪れる人々の「家門繁栄」や「商売繁盛」を願う空間としました。

●季語：夏



鉄線の間

「鉄線」は、その優美な姿が古来より大変好まれ、蔓が鉄のように硬く強いことから、結びつきの縁起物として花嫁衣装などに使用されてきました。列車の旅で、人と人の結びつきを更に強くし、心の中に鮮やかな花が咲く空間演出としました。

●花言葉：高潔・精神の美・旅人の喜び ●季語：夏



菊の間

「菊」は、薬の力を持つ花と言われ「不老不死」「延命長寿」の象徴とされています。「吉祥文様」のひとつで縁起が良く、高貴な花と言われています。この個室でくつろぐことで、ゆったりと、気品溢れる優雅な気分が味わえる、そんな空間としました。

●花言葉：高貴・高潔・高尚 ●季語：秋



笹の間

「笹」は、竹の文様と同じく「吉祥文様」のひとつで、「威勢がよい」「節度がよい」「清浄である」「不変である」とされ縁起物のひとつです。また、同時に「梅」も描かれており、再々縁起の良い旅を送ってほしいという願いを込めた空間です。

●花言葉「笹」：ささやかな幸せ・清浄



錦秋の間

紅葉が川に流れていく様を意匠化した竜田川文様は、豊かな四季がある日本ならではの美しい情景のひとつです。そこに様々な草花が見事に配置され、錦のような彩りで美しさを更に際立たせています。旅の思い出が美しく彩られるようにと願いを込めた空間です。

●花言葉「紅葉」：大切な思い出・美しい変化・遠慮 ●季語：秋



青の間

流水に菊の花びらの組み合わせを「菊水文様」と言います。中国の伝説に、菊の露を飲んだ王が不老不死になったお話から、「不老不死」「延命長寿」「無病息災」「邪気払い」の縁起物として親しまれてきました。旅が安全に進むようにと願いを込めた空間です。

●花言葉「菊」：女性的な愛情・清浄・真の愛 ●季語「菊」：秋



2号車

輪島塗に使われる題材を各所に配置し、煌びやかな「和」のイメージで統一しました。桜・紅葉・鉄線・萩・桔梗・ススキなど季節の移ろいを表し、その中を鮮やかな蝶が翔ぶ。そんな幻想の世界を味わえる空間としました。